日本アートアニメーション映画選集

DISC.1 大藤信郎作品集

日本のアニメ史の初期に孤高の天才がいた。1900年浅草に生まれた大藤は、18歳でアニメの道に入り、千代紙、影絵、セル画などの様々な手法を使い分け、ギャグ、活劇から戦争大作、宗教の世界まで、幅広い分野で個性的な作品群を残した。

	タイトル	作家	製作年	分数	解説
1	馬鹿田城の盗賊	大藤信郎	1926	11	作者の第一作。人気アクション「ファングジョー（バグダッドの盗賊）」からヒントを得た。物語性、モブシーンの迫力、ユニス、盗賊、和洋の表現、著色動画など、作者のエスニックぶりを示す。
2	西遊記 孫悟空物語	大藤信郎	1929	25	孫悟空、沙悟浄、猪八戒など「西遊記」の約聖以降のキャラクター（以下キャラと表記）を、それぞれの干代紙細工の衣装を交ぜ、時間、表現、寺院などの宗教的造型も見事。
3	みかん船	大藤信郎	1927	9	女学校誕生と海門文明開化をアニメに。船に乗ったお嬢様の浪漫の演出、海の描写の迫力、音楽への関心（かぼれてスゴ抜け）など、作者の持ち味が力に発揮されている。
4	黒ニャゴ	大藤信郎	1929	3	ハンドドロキャーの第一作。ドタバタ、ナンセンスに、ポップ、ポエムを交ぜ、軽妙と音楽がシンクロする。受像向けのジャズにのせて、黒ネコ、赤ネコ、子供4人が楽しく踊る。
5	こがねの花	大藤信郎	1929	17	浦島の「昔話」とは、神秘的に浦島が、ちんこ、ちんこ、ちんこ、黒ニャゴなどの登場、美女を得る話。団子兵衛が迷う夜の山道の不気味な雰囲気、大蛇を撃ってユーモアとが観られた作品。
6	村祭	大藤信郎	1930	3	交差編集（村祭）の要領の上をリズムに合わせて回しながら子犬のちんこ平々が踊っていく。米国のフライシャーのアニメ「ベティ・ブープ」の影響が色濃く出ている。
7	心の力	大藤信郎	1931	12	即効の団子兵衛が、日本一の大名を得て、ちんこ、ちんこ、ちんこ、黒ニャゴなどの協力で、見事、盗賊を、捕まえる。ジャズ、ラテンなどの音楽と海面でのアクションが、見どころ。
8	春の頃	大藤信郎	1934	3	パテベビー（9.5ミリ）フィルムの16ミリフィルムで販売されたお楽しみ。全編ピアニック色に彩色されている。華やかな楽曲にのせて、ちんこ、ちんこ、ちんこ、ちんこ、ちんこ、ちんこ。
9	沼の大将	大藤信郎	1933	8	作者はアイリスシャッターを多用するが、特に本作で顕著。暗がりをギザギザ楽しい。ちんこ、ちんこ、軟体の海中生物の描写は、アニメ作家にとって、腕の善さのあらわれだったのだろう。
10	蛙三勇士	大藤信郎	1933	6	「日露大戦」の姉妹編で、大きマスエアとの戦いが続けられる。クライマックスは当時話題の「像探三勇士」。戦場の描写がリアルでなかなか興味である。
11	天狗退治	大藤信郎	1934	11	ちんこ、ちんこ平平五手箱。太郎の集団を相手に大立ち回り。夜回り平平の背景動画はおそらく日本初初。アニメの技法も格段に洗練されて来た。
12	ちんこ平平五手箱	大藤信郎	1936	9	「ブリ大根実験ラボ」を手掛ける作品。鯛が鯛、魚が鯛に、猫が鯛に、鮫が「鮫パス」に、キャラが変身する面白さ。ナンセンスな、金魚にキャラがリンクされたりは、ほ。
13	蜘蛛の糸	大藤信郎	1946	111	戦後は作風が一変する。本作は影絵アニメとして、くくり5）（52）、（幽霊船）（56）などに並び完成度、クルグ アイ様式に、ほ。ほ。ほ。